

## 平成29年第12回岐阜市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成29年11月15日（水曜日） 午後1時30分から午後3時30分まで
- 2 場 所 徹明さくら小学校（岐阜市木ノ本町1丁目18） 顕彰室
- 3 出席者 早川教育長、中島委員、足立委員、武藤委員、横山委員
- 4 説明のために出席した事務局の職員  
若山事務局長、  
原事務局次長兼教育政策課長、石原事務局次長兼教育立市政策審議監、  
石神学校教育審議監兼学校指導課長、田中教育施設課長、  
杉山岐阜東幼稚園長、中島学校保健課長、内堀社会教育課長、  
若山青少年教育課長、杉山市民体育課長、上田岐阜商業高等学校事務長、  
吉成図書館長、小森科学館長、大塚歴史博物館長、菅沼中央青少年会館長、  
長谷川教育政策課主幹
- 5 職務のために出席した事務局の職員  
細野教育政策課副主査、杉本教育政策課副主査、波賀野教育政策課主任、  
籠原教育政策課主任主事
- 6 議事日程
  - 第1 開会
  - 第2 前回会議録の報告、修正及び承認
  - 第3 会議録署名者の指名
  - 第4 諸般の報告
    - (1) 「第2次岐阜市子ども・若者生き生きプラン」の策定について  
(青少年教育課)
    - (2) まちライブラリアン養成講座の開催について (図書館)
    - (3) ぎふサイエンスフェスティバル2017の開催について (科学館)
    - (4) 岐阜市歴史博物館で開催する予定の事業について (歴史博物館)
  - ※ (5) 臨時代理の報告：岐阜市教育委員会臨時的任用職員の任免について  
(教育政策課ほか)
  - ※ (6) (仮称) 岐阜市教職員サポートプランについて (学校指導課ほか)

第5 議事

※議事なし

7 会議に付した事件

「6 議事日程」のとおり。なお※の報告及び議案は、秘密会形式で審議した。

8 議事の経過

午後1時30分開会開議

**○早川教育長** 定刻となりました。本日の出席者数が定数に達し、会議が成立いたしますので、只今から、平成29年第12回教育委員会定例会を開会します。本日の会議録の署名者には、本日の出席者を指名します。

傍聴者に申し上げます。傍聴の際は、傍聴券の裏面に記載した事項を遵守してください。会議の撮影、録音などは、岐阜市教育委員会傍聴規則の規定により禁止しておりますので、ご注意ください。会議の円滑な運営にご協力をお願いいたします。

それでは、議事日程をご覧ください。本日は、報告が6件、議事はありません。議事日程に、秘密会で審議すべき案件が記載されていますが、このとおりに扱うことに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と声あり)

**○早川教育長** 秘密会については、このとおりに扱うものとします。それでは、日程第4諸般の報告にまいります。報告1について説明をお願いします。

**○若山青少年教育課長** (「第2次岐阜市子ども・若者生き生きプラン」の策定について説明)

**○早川教育長** 只今の説明についてご質問や意見があれば仰ってください。

**○足立委員** 支援する方の年齢の幅を広げようとするのは、柔軟な対応で良いと思います。支援している方が決められた年齢を超えた場合、別の組織で支援を継続することはできますか。

**○若山青少年教育課長** 計画の対象を概ね40歳未満としていますが、そこでその人に対する支援が打ち切られるということではありません。また別の計画等に基づいて、支援を行っていくこととなります。

**○足立委員** 例えば、ひきこもりは40歳を過ぎても続く方がいらっしゃいます。個々の事例で違うとは思いますが、具体的にどのような組織に引き継ぐのか示されると良いと考えます。

**○早川教育長** 20歳までは岐阜市子ども・若者総合支援センターが支援をしま

すが、20歳を過ぎた後はどのような支援体制になりますか。

○**若山青少年教育課長** その後は、一部、中央青少年会館で支援をしていきます。

○**早川教育長** 中央青少年会館では、何歳まで支援を続けていますか。

○**菅沼中央青少年会館長** 概ね40歳未満としています。

○**早川教育長** 40歳を過ぎたら支援するところは無いですか。

○**長谷川教育政策課主幹** ひきこもりに関しては、岐阜市健康部が相談窓口を設ける等の対策をしています。

○**若山事務局長** 他部局との連携も意識しながら、支援を行っていきたいと考えています。

○**長谷川教育政策課主幹** 自殺防止対策について、内閣府が力を入れて取組んでいくという話を受けて、庁内で連携して対応を検討していくという話がありました。ひきこもりも同じように対応していくことになると思いますので、青少年教育課や中央青少年会館も連携して、切れ目のない支援を提供していくことになると思います。

○**横山委員** 支援する年齢の幅が広くなることにより、支援が不十分になってしまう恐れが出てくるのではないかと考えます。この件に関する所管課はどこになりますか。

○**若山青少年教育課長** 所管課は青少年教育課となります。

○**横山委員** 青少年の定義に30歳代、40歳代は入りますか。青少年教育課の所掌として限界があるのではないですか。

○**若山青少年教育課長** 青少年問題協議会は、岐阜市役所内部の連絡調整も含まれます。青少年教育課が40歳代まですべてを支援サポートしていくというわけではなく、各部局が調整しながらサポートしていくことになります。

**○横山委員** その調整は、これまでの5年間うまくいきましたか。現実問題として、なかなか難しいと思います。また、この岐阜市子ども・若者生き生きプランを実現するために、これまでの5年間の予算措置はどの程度でしたか。

**○若山青少年教育課長** それぞれの部署にまたがって予算措置していますので全ては把握できていません。

**○横山委員** この5年間で予算措置がどのように行われ、具体的にどのような事が行われてきたのか教えていただきたいです。

**○早川教育長** プランに関する予算を関係各課で持っていると思いますので、一度示してください。青少年教育課がこれまで行ってきたことなので、今後も継続する流れになっているということですか。

**○若山事務局長** 40歳を超えた方に対してどのような支援ができるのかについて、もう少し精査していくべきだと考えています。

**○武藤委員** なるべく幅広く、漏れがないように、30歳代、40歳代まで支援するという姿勢は良いと思いますが、それが実際うまくいくのかということについては難しい部分もあると思います。切れ目の無い支援を目的としながら抜け目があってはいけないので、個別のケースを検討しながら、どういう体制が望ましいか考えていくと良いと考えます。

**○早川教育長** 40歳位のひきこもりの方は市内に何人くらいいるか把握していますか。

**○菅沼中央青少年会館長** 岐阜市子ども・若者総合支援センターが20歳まで支援している中で、公的な機関を集めた子ども・若者支援ネットワーク岐阜が会議を行っていますが、その中で、高校を卒業するくらいまでの子どもを数名預かっていると聞いています。40歳位の方については把握できていません。

**○早川教育長** 中学生の時点では、ひきこもりの数を把握しています。その子どものひきこもりが解消されない場合は、次の支援先に引き継いでいけるような仕組みが良いと思います。一人ひとりへの対応は、行政だけでは難しい面もあると思いますので、NPO団体等とも協力しながら対応していくのがあるべき姿ではないかと考えます。

○**中島委員** 現在のプランについて記載されたパンフレットに、関係機関やNPO団体等と連携という記載がありますが、具体的にどのような団体があるか把握できていますか。どのような団体があって、何歳ぐらいまでを対象に支援しているかなどを把握することで繋がりやすくなります。行政でできることは限られていると思いますので、団体をしっかりと繋げていくのも行政の役割だと思います。会議も、行政内の会議ばかりなので、NPO団体等も集めて、連携会議をして地域の底上げをしていただきたいと思います。

○**武藤委員** 今回策定するプランでもパンフレットを作成しますか。

○**若山青少年教育課長** はい。パンフレットを作成し、庁内の関係機関や学校などへの配付を予定しています。

○**武藤委員** 配付の目的は、プランの内容を把握していただくためですか。

○**若山青少年教育課長** はい。このプランにどのような施策があるのか知ってもらうためです。

○**武藤委員** 実際に支援を必要としている子どもやその保護者に対してどのような支援があるか等を周知するための別のパンフレットもあれば良いと考えます。

○**早川教育長** 現行のプランでそのような別のパンフレットはありますか。

○**若山青少年教育課長** ありません。今回のプランについて、パンフレットを作成する際は、実際に支援を受けようとする保護者や、そのお子さんも見られることも考慮して作成したいと思います。

○**早川教育長** 続きまして、報告2について説明をお願いします。

○**吉成図書館長** (まちライブラリアン養成講座の開催について説明)

○**早川教育長** 新聞やテレビで取り上げられましたか。

○**吉成図書館長** 記者への資料提供はしましたが、取り上げられませんでした。

11月18日に再度ワークショップやプレゼンテーションを行いますので、その時は取り上げてもらえるようにしたいと思います。

○**横山委員** 養成講座の内容はどういったものですか。

○**吉成図書館長** 講座の中身は、どういう場所に、誰を対象に、どういう本棚を作りたいか等について、フィールドワークをしながら、参加者それぞれが思い描くプランを作ってもらおうというものです。次回11月18日に発表を行い、展示ルームに飾ろうと計画しています。

○**武藤委員** 受講修了者に認定証が授与されるとのことですが、認定証が授与されることによって、何かメリットはありますか。

○**吉成図書館長** 認定証をお店等に飾っていただけるようにしたいと考えています。

○**武藤委員** 図書館で展示するということなので、講座受講後、参加者が実際にどのような図書館を作ったか等についてもフォローしていけると良いと思います。

○**吉成図書館長** 図書館としての役割は、広報やバックアップの部分と考えていますので、受講者の方との関わりは、今回の講座で終了ではなく、これから始まるものだと考えています。

○**武藤委員** なかなか図書館に行けないような人にとって、このような取組みが広がって行くことは非常に効果的な取組みになると期待しています。

○**小森科学館長** (ぎふサイエンスフェスティバル2017の開催について説明)

○**早川教育長** ご意見、ご質問ございませんか。

○**横山委員** 参加する岐阜大学の方はどういった方ですか。

○**小森科学館長** 教育学部の多くの研究室にご協力いただきます。

○**中島委員** 先生の協力だけですか。学生さんの協力は無いですか。

○**小森科学館長** 先生を中心に研究室の学生にも協力してもらいます。また、高校生や、小中学校の先生、STEM 教員、岐阜科学塾の子どもにも協力してもらいます。

○**早川教育長** 講演会への応募状況はどうか。

○**小森科学館長** まだ席に余裕がありますので、県内の大学等に案内する等、PR を続けます。

○**早川教育長** 良い話が聞ける機会なので、小中学校を中心にしっかり PR してください。先日、幼稚園でレオナルド×ミケランジェロ展の開催について話をしたら、どこでやっているのか知らない方も多くいましたので、積極的に PR をしてください。

○**中島委員** 高校生の中には、講師である名城大学の先生の話を知りたいという生徒も多くいるのではないのでしょうか。

○**小森科学館長** 市内の全ての高校と県内の工業高校には案内していますが、高校は、ぎふサイエンスフェスティバルの開催時期がテスト期間中であることが多く、来場が難しいという声もあります。

○**早川教育長** 来年は、日にちをもう少し検討した方が良いかもしれません。次に、報告 4 について説明をお願いします。

○**大塚歴史博物館長** (岐阜市歴史博物館で開催する予定の事業について説明)

○**早川教育長** レオナルド×ミケランジェロ展は、来場者からのクレーム等はないですか。

○**大塚歴史博物館長** 小学生の見学者が集中して来場した場合に、一般のお客さんから見づらいという声はあります。

○**早川教育長** 開催期間の終了が近づいてきて、来場者は増えてきましたか。

○**大塚歴史博物館長** 終了に近づいて増えてきています。



○**早川教育長** 以降の報告、及び議事は秘密会で進行します。

(削除)

○**早川教育長** 最後に次回の会議の日程を確認いたします。次回の会議は、12月20日水曜日午後1時30分から行います。会場は未定ですので、改めて事務局よりご連絡いたします。それでは以上をもちまして、本日の会議を閉会いたします。ありがとうございました。

午後3時30分 会議終了